

令和6年12月吉日

各位

(一社)新潟県野球連盟少年部長 佐藤 勉
新潟県中体連軟式野球専門部長 加藤育志

【重要】新潟県少年(中学)軟式野球大会 特別規程【R7年度改訂】(連絡)

日ごろより少年(中学)軟式野球の活動に、御理解と御協力をいただきありがとうございます。
以下、チーム関係者に周知いただきますようお願いいたします。

記

スパイクのチーム内(指導者も含めて)での甲被カラーは、白または黒の一色とし、チーム内での混在を認める。(昨年度の規程を継続)

上記を除き、令和7年度より、新潟県中体連及び新潟県野球連盟主催大会(ともに予選会含む)においては、すべて、全日本野球連盟規程を採用する。

【具体例】新潟県中体連・新潟県野球連盟大会ともに、以下のように変更となる。

- 1 背番号は、すべての大会において、全日本野球連盟規程の通りとする。
背番号は、監督30番、コーチ29番、28番、主将を10番とし、選手は0番から99番とする。
「全日本野球連盟規程細則第3条3(2)」より
- 2 選手、指導者など、ベンチに入れる者すべてのサングラスの使用を認める。
サングラスは、大会本部の承認なしに使用できる。ただし、投手はミラーレンズサングラスの使用はできない。また、野手がサングラスを帽子の底の上に乗せることを認める。
「全日本野球連盟競技者必携 II 審判員・選手への注意事項 用具・装具に関する事項」より
- 3 グラブの色については、野手は制限なし、投手は捕球面・背面・ウェブは2色まで可。
ただし、投手は白色/灰色/PANTONEの色基準14番より薄い色の使用は禁止とする。
「R6全軟野連発第74-1号」より
- 4 バッティンググローブの色や長さ(形状)に特に規程を設けない。
もとより、公認野球規則では、バッティンググローブについての規程はない。
- 5 審判員の白色スパイク(シューズ)の使用を認める。
暑さ対策として、球審、塁審の白色スパイク(シューズ)の使用を認める。
もとより、公認野球規則では、スパイク(シューズ)についての規程はない。

※ 本規程は新潟県限定の特別規程である。
中体連及び野球連盟主催の北信越大会と全国大会では適用されない。

以上

【担当】新潟県中体連軟式野球専門部
審判部長 海老名 崇
連絡先 090-1456-5635